〈五月の歌〉学習のページ

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
〈五月の歌〉中西部団員の井上弘郷さんからの投稿が届きましたので紹介します。
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

≡植物記≡
「わたしを束ねないで、アラセイトウの花のように」

和名の【アラセイトウ】は地中海沿岸地方のアブラナ科の植物です。花弁は４弁、赤紫色をした花で一般名は【ストック】です。この植物は園芸草花として改良が進み、現在では八重咲きのもの、花色もピンク、黄、白など変化に富んだものがみられます。

そこで【アラセイトウ】という植物名について色々調べてみました。どの本を調べてもわからぬとのこと、最後に牧野富太郎の「植物記」を調べたものの、意味不明とありました。その後もやはり気になり、再度新刊書を調べて行く中で、アラセイトウはポルトガル語の「ラセイタ」からきているのではないかとのことでした。

ラセイタとは羅紗(ラシャ)に似た毛織物とありました。アラセイトウ(ストック)の葉は、やや厚みがあり、その表面にやわらかな毛が密生していてラシャのような感覚があります。このようにアラセイトウは葉の特徴から名付けられたのかも知れません。

次にストックの命名です。ストックとは植物・生物関係で「茎」を意味します。切花用としてよく栽培されるものは茎が枝別れしない１本立ちの系統が多く、この直立した茎の特徴からストック（茎）と名付けられたようです。スキー用のストック（つえ）も茎を意味します。

切花用のアラセイトウは、以前は束ねられて出荷されていました（現在はダンボール箱につめられて出荷されています）。

♪白い葱のように　白い葱のように‥‥
野菜売場に行くと束ねられた茎の野菜が目に付きます‥‥束ねられたアスパラガスです。ネギ、アスパラガス共にユリ科の野菜です。

〈 関 連 〉
【オオアラセイトウ】は中国原産のアブラナ科の植物で、花がアラセイトウより大きいので、オオアラセイトウ。４弁花で赤紫色。別名ショカッサイ、ムラサキハナナ、ハナダイコン、ムラサキハナダイコン、シキンソウ（紫金草）などいろいろな名で呼ばれています。混乱をさけるため標準名を【ムラサキハナナ】と呼ぶよう提案されています。

（７月５日　井上弘郷・記）